

事業者向け自己評価表(るんるん放課後等デイサービス・児童発達支援)

令和3年3月

チェック項目		(表示は%)			工夫している点、課題や改善すべき点など
		はい	いいえ	無回答	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	56	44	0	・コロナ対策として人数が多い時には分散している。室内でも距離をとっている。 ・利用人数が多い日には少し狭さを感じる。 ・その日の利用人数によっては感覚を十分に開けることが難しい時もある。 ・出入口が狭いので送り出し時に利用者への配慮をさせないように気を付けている。
	2 職員の配置数は適切であるか	78	22	0	・人数不足の時がある。 ・まれに利用者に対して看護師の数が不足気味の時がある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	78	22	0	・絵カードや手話等を用いて伝えたり予定表や文字カード・写真を活用している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100	0	0	・出入口部については不特定多数が利用するため、清掃・消毒に留意している。
業務改善	5 業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	56	33	11	・日々の活動状況や利用者の様子などを関連させながら、PDCAはできていると思う。
	6 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89	0	11	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100	0	0	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	44	44	11	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	89	0	11	・アセスメント表等によるチェックはしていないが、支援計画目標についての日々の様子については話し合っている。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	44	44	11	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	89	11	0	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100	0	0	・支援計画にのっている方針を、個別の連絡票に書きスタッフに周知している。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	89	11	0	・日々、チームでのPDCAを計画に反映させている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78	22	0	・工夫はしているが長期休みになると難しい部分もある。 ・なるべく固定化しないように務めている。 ・心掛けているが固定化しやすい。
16 子どもの状況に応じて、個別計画と集団行動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100	0	0		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	89	11	0	・事前におこなわれなかったこともあるが、活動中に不明なことは確認しあっている。
	18	支援開始後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	78	22	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	89	0	11	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	0	・今年度会議はほとんどおこなわれなかった。電話で報告を自発管に行った。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	89	11	0	・学校の先生からのお話を支援に活かした。
	23	(医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	89	11	0	・活発な活動はなかったが、一度会議に参加した。 ・主に保護者を通じて医療・福祉の情報を得ている。必要な場合は保護者を通じて学校等の情報を入手できればと思う。
	24	(医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	44	22	33	・連絡先は知っているが実際に連絡は難しい。 ・主治医を確認している。また、法人の産業医にも相談している。 ・主治医は忙しすぎて現実的にはほとんど不可能ではある。
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか	78	11	11	・親御さんより他所での取り組みを伺い支援に活かした。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100	0	0	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67	11	22	・ビデオ研修を行った。
	28	移行支援として、小学校や特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	56	22	22	・同事業内の一部で同一活動をしている部署がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	33	33	33	
	30	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	0	・送迎時に様子をお伝えしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	67	22	11	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89	0	11	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100	0	0	・モニタリングとあわせ様子をお伝えし説明、その後文章にて同意をいただいている。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	89	11	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33	56	11	・コロナのため、できていない。今後ブログやライン等を使って様子を伝えていく。
	36	子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100	0	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	78	22	0	・コロナでできなかった。 ・行事の少ない中フリーマーケットは開催できた。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	56	33	11	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	89	0	11	・今年度は図上訓練になった。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100	0	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	89	11	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	89	11	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	44	44	11	・コロナで延期になった。 ・計画はされているが延期になっている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	89	11	0	・現在拘束が必要な児童はいないが、必要な場合には十分に説明をおこなう。 ・身体拘束については、保護者とよく話し合い、しない方向をお伝えしている。 ・動きを開放すると気持ちが高揚しすぎてしまう利用者もいる。